



夕刊
九月九日
発行所 伊藤 隆夫
支店 小名濱町五九
電話 二二五九
日曜祭日翌日休刊
本紙一ヶ月五元
原稿料 一行 五十銭

警戒非常 警報は乱れとんで

昨夜平町の燈火管制豫行

警報は乱れとんで、警戒非常の警報が頻りに鳴り響いた。昨夜平町の燈火管制は、豫行として行われ、市民は暗闇の中を歩いた。警戒非常の警報は、市民の不安を煽り、警戒心を高める効果があった。

先づ、好成绩

今晩模範

焼夷筒一個を投下した。先づ、好成绩を挙げた。模範的な行動を示し、市民の賞賛を受けた。

防護團へ

世界館から

防護團へ、世界館からの支援が寄せられた。防務強化に貢献する。防護團の士気は高まり、防務体制は更に堅固になった。

特殊消印

父から搜索願

特殊消印の発行が決定された。父からの搜索願が実現した。市民の利便性を高めるための措置である。

御召艦通過の際

氣象観測を御通報

御召艦通過の際、氣象観測の結果が御通報された。天候は晴れ、視界良好であった。観測結果は、航行の安全に貢献した。

本社 小名濱町古港

支店所在地
平町木村二〇
四倉町停車場前
湯本町新校舎前
植田町金畑五

身重の妻を殺して

突如多額即日立久保田、身重の妻を殺して。事件は重大な犯罪であり、捜査が急がれている。

潜水夫が連日活躍

岸壁工事進む。潜水夫が連日活躍し、岸壁工事の進捗が著しい。工事現場は活気にあふれている。

揚操網船續々塩釜へ

本縣沖合へ廻遊は何時? 揚操網船が續々塩釜へ向かい、本縣沖合へ廻遊する。漁業活動が盛んに行われている。

フアンの人氣沸騰

追る日満大野球。フアンの人氣が沸騰し、日満大野球の試合が熱戦を演じた。

小名濱港修築

工事施行状況。小名濱港の修築工事が進捗している。工事現場の様子が報告されている。

本社の質問に對する

小名濱町有志の回答。本社の質問に對して、小名濱町有志が回答した。町民の意見が反映されている。

小野務平

警務通信社長。小野務平の発言や活動に関する記事。警務関係の重要な人物である。

三百余名が入みだれて

兩部落血と血の亂闘。昨夜高久村で突發。三百余名が入みだれて、兩部落血と血の亂闘が起きた。事件は重大な騒動であり、捜査が急がれている。

聖徳太子の頌徳碑

小名濱の大王さん達が建立。聖徳太子の頌徳碑が建立された。地域の歴史をしのび、文化の継承に貢献した。

坪刈

小名濱小学校では来る十四日。坪刈の行事が行われる。地域の伝統行事であり、子供たちの楽しみにしている。

防波堤工事

本工事は延長三百九十米。防波堤の工事の進捗が報告されている。地域の防災体制を強化するための重要な工事である。

渡米通信

八月十三日。渡米通信の最新情報。海外からのニュースや情報に関する記事。

夏の魅惑

大懸賞附 假裝盆踊大會。夏の魅惑を演出する大懸賞附の假裝盆踊大會が開催される。市民の憩いの場となる。

街の噂

最近小名濱には大分。街の噂に関する記事。地域の出来事や噂話に関する情報。

開院廣告

小名濱共済病院。開院の廣告。地域の医療ニーズに応えるための開院に関する情報。

小名濱出張所

日本食料工業株式會社。小名濱出張所の開設に関する情報。地域の産業発展に貢献する。

天氣豫報

今晩	南東ノ風
明日	南東ノ風
平均温度	二五度五分
湿度	八〇%
小名濱干満時間	
満潮	(前) 二時三十分
干潮	(前) 八時三十分

平野菜市場況

品名	数量	高値	安値
南瓜	百	八	六
長ナス	百	八	六
九ナス	百	八	六
玉葱	百	八	六
枝豆	百	八	六
大豆	百	八	六
枝豆	百	八	六
大豆	百	八	六
枝豆	百	八	六
大豆	百	八	六

小名濱出張所

日本食料工業株式會社。小名濱出張所の詳細情報。商品の種類や価格に関する情報。

電話至急買入れ度

石油部 本店 宮城縣鹽釜港
米穀部 會社 亀井商店
魚油部 小名濱出張所
製糖部 小名濱町

開院廣告

小名濱共済病院 (電話六四一)
院長 長谷部喜久
内科 醫學士 長谷部喜久
外科 醫學士 多田壽雄
小兒科 醫學士 多田壽雄
耳鼻咽喉科 醫學士 市川繁
性病科 醫學士 市川繁
産婦人科 醫學士 草刈邦彦
レントゲン科 醫學士 長谷部喜久
薬局 長藥劑師 吉本孝平
事務 長 高畑清志

診療時間

午前八時ヨリ午後六時マデ
往診午後 急患ハ此ノ限ニ非ズ
病室完備、入院隨意

天皇陛下には来月二日より六日まで北海道狩野野に展開される陸軍特別大演習御統制のため来る廿四日御發艦、御召艦比叡に御乗艦遊ばせられし御旗を北國に進め給はせられるが、本縣沖合を御航海遊ばされる御事として小名濱測候所では来る廿四日より三日間並びに十月九日より二日間相互に午御時此の地方の氣象を觀測の上中央氣象臺を通じて御召艦に御通報申上げることとなり小機所長以下所員一同この光榮に感奮當日の遺憾なき觀測を期してゐる。

